

2021 年度
大東文化大学青桐会
全国各支部からの質問・要望

大学からの回答

【就職関連】	P. 1～
【教務関連】	P. 2～
【学生生活関連】	P. 3～
【施設設備関連】	P. 6～
【スポーツ関連】	P. 7～
【留学関連】	P. 8～
【その他】	P. 9～

※添付資料;キャリアセンター主催今後の行事一覧

※青桐会全国支部総会(書面議決)の際に会員様よりいただいた
大学への質問・要望に対する回答をいただきました。

【就職関連】

1. 就職支援活動はキャリアセンターだけなのでしょうか。また OB 訪問の支援はあるのでしょうか。

【回答】民間企業及び公務員への就職活動の支援は、両校舎にあるキャリアセンター中心に行っております。求人票の公開等は法律（職業安定法）で定められており、大学のどの部署でも扱うということできません。このため、就職に関する支援行事、求人票の公開等は、キャリアセンターで実施しております。なお、教員を目指す学生に関する支援については、両校舎にある教職課程センターにて実施しています。

OB 訪問の支援についても、進路によりキャリアセンター及び教職課程センターで支援をしております。

2. コロナ禍の就職活動は保護者も不安に思っています。就職活動でどのような支援を頂けているか、具体的な内容があれば教えていただけますでしょうか。

【回答】コロナ禍での企業の採用活動は、WEB を中心とした方法にシフトしています。説明会から最終面接までを WEB で実施する企業もあるのが現状となります。但し、一方で対面での実施を継続する企業もあり、学生は、この両方に対応する必要が出てきております。

キャリアセンターでは、1 回目の緊急事態宣言が出された 2020 年 4 月当初より、ビデオ会議システム Zoom（ズーム）を使用した面談に切り替え、相談対応を続けています。通常対面で実施されてきたガイダンスなどの各種行事についても Zoom のウェビナーライセンスを契約し、この機能によりガイダンス内で即時に質問に答えるなど、対面と変わらない双方向のやりとりができるよう支援をしております。

また、対面での面接練習についても、求人検索 NAVI により予約を受け付け、対応しております。

このように、できるだけコロナ前と変わらぬ対応となるよう、支援を実施しておりますので、お子様にもキャリアセンターを利用するよう、お伝えいただけますと幸いです。

資料として、就職活動準備が本格的に始まる 3 年生の 10 月以降の支援行事の一覧（2021 年度分）を添付いたしましたので、参考としてご覧ください。

【教務関連】

3. 対面授業や Zoom での授業も少なく、休講の連絡も遅く不満を感じているようです。対策は検討されていますでしょうか。

【回答】対面授業に関しましては 10 月 25 日以降、制限を緩和して対応しております。Zoom での授業は学内無線 LAN の基幹線増強工事が資材の調達問題で滞っている状況にあり、積極的に実施することを控えています。休講連絡が遅延するという問題につきましては学部長会議を通じて各教員に注意喚起をおこなってまいります。

4. コロナ禍ですが対面授業を希望します。入学式も経験しておらずコミュニケーションの機会を増やして頂ける大学生活の環境作りを希望します。

【回答】コロナ禍での授業実施の形式につきましては様々のご意見を聞きながら調整をおこなっており、直近では 80 名以上の受講者数がある授業につきましてはオンデマンド、それ以下につきましては対面、ハイブリッド、オンデマンドで選択可能にしています。コロナの感染拡大状況を見つつではありますが、できる限り対面コミュニケーション機会を増やす方向で考えていますので、ご理解を賜れば幸いです。

5. オンラインでの書道学科の授業はどのような状態で行っているのでしょうか。

【回答】実技科目（書作）については、学生個々で制作した作品の全体画像を教員に送り、教員が画像の上から添削をして、講評を添えて返却するといった方法（オンデマンド式）が主流でした。また、一部では、Zoom等を用いた双方向型での授業も実施しておりました。

講義科目（書学）については、レポートを課す等のオンデマンド式授業の他に、Zoomを用いた双方向型授業も多く実施されておりました。

【学生生活関連】

6. 学食やコンビニでの商品売り切れが多く、食事をとれない場合があります。改善は可能でしょうか。

【回答】 ご意見有難うございます。学生食堂やコンビニ各社に頂戴したご意見をお伝えさせていただきます。

しかし、現状においては、コロナ禍の学内運営に際し、対面授業に出席する学生数が減少し、各店舗を利用する学生数が不透明な状況です。商品の仕入れや料理の仕込みの量は適切に管理するよう努めていますが、状況により商品の欠品や在庫不足が発生します。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

7. コロナ禍でアルバイトが減り、生活費が減ってしまっている学生に大学から何か支援をさせていただくことは可能でしょうか。

【回答】 経済的困窮学生に対して、まずは（国の）高等教育の修学支援新制度や日本学生支援機構奨学金をご案内していますが、文部科学省のホームページには「新型コロナの影響を受けた学生等の経済支援」がまとめられており、その中で「アルバイト収入が減少した学生が活用可能な支援制度」として、「日本学生支援機構の貸与型奨学金（緊急特別無利子貸与型奨学金）」や「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金（厚生労働省）」、「雇用調整助成金・緊急雇用安定助成金の特例措置（厚生労働省）」が紹介されています。

(https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/benefit/index.html)

本学独自の経済支援は、学生のアルバイト収入減少に限定したものではありませんが、桐門の翼奨学金（入学前予約採用型）、温故知新報奨金（学業成績優秀者）、特別修学支援金（家計急変対応）、教育ローン利子補給金、学生災害見舞金などを用意し、大学ホームページで周知しています。これらは、修学専念と意欲向上を期するため、全て給付型としています。2021年度より、温故知新報奨金は金額を倍増（10万円→20万円）、特別修学支援金は増枠（20名→30名）、教育ローン利子補給金は留年者も利用できるようにしました。また、寄附金を原資とする修学継続支援事業や、学費納入の特別延納措置も2020年度に引き続き2021年度も実施しています。

(https://www.daito.ac.jp/campuslife/support_expenses/)

コロナ禍以降、学内のWi-Fi環境（無料）を増強し施設を開放しています。学生は通信料を気にせずご利用いただけますので、図書館等のPCと併せて、適宜ご利用ください。

アルバイト情報は、学生アルバイト情報ネットワーク事務局による求人システム情報の提供により、学生がWebで閲覧できるようになっています。良質な求人情報が掲載されますので、適宜ご利用ください。

(<https://www.daito.ac.jp/campuslife/support/parttime/>)

8. コロナ感染防止対策のため対面授業や学校行事が中止になりがちですが、実施に向けて今後検討して頂くことをお願いします。

【回答】 2021年9月30日をもつての「緊急事態宣言」等の解除や、10月24日をもつての「東京都におけるリバウンド防止措置」の解除を受け、10月25日以降、受講登録者が80名未満の授業についても対面方式での授業実施を可としました。11月1日時点での状況判断としては、2022年度の授業は原則対面方式で実施する予定としております。また、2023年の創立100周年に向けて、周年事業の準備もスタートしています。今後も感染症の状況を慎重に見極めながら対面授業や学校行事を検討して参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

9. コロナ禍による環境の変化で一人暮らしの学生は不安も多く、精神的なケアをサポートして頂くことは可能でしょうか。保護者も安心できます。

【回答】 板橋・東松山の両キャンパスにある学生相談室をお気軽にご利用ください。カウンセラー（臨床心理士）が対応します。悩みごとや困りごとがあるとき、どこに相談したら良いか分からないときなどがありましたら、まずは学生相談室にご相談ください。必要に応じて、窓口をご案内し、また教員や学校医（心療内科・精神科）との相談の橋渡しもしています。ご相談は、対面、電話、オンライン、メール、手紙のいずれでも受け付けています。保護者の方もご利用できます。

(<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/counseling/>)

前述の通り、お気軽に学生相談室をご利用いただきたいと思います。カウンセラーに相談するのはどうも敷居が高いなど感じるようであれば、各学科に入門ゼミ（「基礎演習」など、学科によって科目名称は異なります）がありますから、まずはその担当教員や、所属の学部事務室、学生支援課などにご相談されてもよろしいかと思えます。2021年5月には、学生支援センター所長による「授業など困りごとホットライン」を開設しました。

(<https://www.daito.ac.jp/campuslife/help/hotline/>)

心のエネルギーが枯渇しがちになったりすることは誰にでもあり得ることです。から、学生支援センターでは「何かで悩んだり困ったりした時は、一人だけで抱え込まず積極的に誰かにヘルプを求める」ことを呼びかけています。必要なときに上手に人に頼れる力を持つことが、学生時代に限らず今後生きてゆく上でとても大切だと思われま。

10. 学生支援センターの3つの柱について青桐会の保護者も参照できないでしょうか。
- ・学修を経済的にサポートするための各種奨学金の給付／貸与
 - ・課外活動を充実させるための学生自治会活動サポート
 - ・ダイバーシティ推進としての生涯学生サポート

【回答】 本学HPの「学生支援センター」の以下の頁でご参照いただけます。

○学生支援センターの理念

<https://www.daito.ac.jp/campuslife/supportcenter/philosophy/>

【施設設備関連】

11. 大学スクールバス利用の混雑が酷く、感染対策面で不安に感じています。どのような感染対策が実施されているのでしょうか。

【回答】本学では、全てのスクールバス車内に抗ウイルス・抗菌加工を施し、1日数回の除菌拭き掃除や窓開けによる換気を行いながら運行し、感染予防に努めています。バス乗車時には、マスクを着用し、乗車中及び乗降時の会話禁止としていますが、会話については守られていない状況です。学内で促進している「3つの黙（飲食時の「黙食」、スクールバス乗車時の「黙乗」、列待ちの際の「黙列）」の掲示や車内放送にて、走行中に複数回呼び掛けを行い、徹底をお願いしています。なお、混雑については、スクールバスをできるだけ増便するなど対応しておりますが、どうしても朝の通学時間や夕方の帰宅時間は一時的に利用者が集中し混雑する場合があります。学生の皆さんにおかれましても早い時間や利用時間をずらす等工夫してスクールバスをご利用いただきますようご協力をお願いします。

12. 大学内でのWi-Fi接続が良くないと聞いていますが、Wi-Fi設備の改善は可能ですか。

【回答】Wi-Fi接続環境改善のため、2021年度中にネットワーク機器の全学的な改修を予定しております。また、次年度につきましてはWi-Fiアクセスポイント（アンテナ）の増設を予定しております。

13. 大学の基本方針や事業計画で記されている、4年間同一キャンパス化について、その進捗状況及び実現の具体的な時期についてお聞かせください。

【回答】「4年間同一キャンパス」は本学にとってのいわば悲願であり、毎年度の行動計画に盛り込まれている課題です。「4年間同一キャンパス」を進めるためには、キャンパスごとの学部再配置を行う必要があります。ところが、2028年度末までは、国の政策である「東京23区における大学の学部等の収容定員の抑制」により、板橋キャンパスの収容定員を増やすことができません。板橋キャンパスの現行の収容定員のまま同一キャンパスを実施することは事実上不可能です。また、同一キャンパス問題は、行動計画にある「戦略的な学部・研究科の統廃合」や「東松山キャンパスにおける学部定員増の検討」とも密接に絡む課題ですので、今後数年間、慎重に検討を進めたいと考えています。

【スポーツ関連】

14. 寮の老朽化により、総合寮の建設をスポーツ振興センターと大学で協議中という事ですが、その具体案と進捗状況についてお聞かせ下さい。

【回答】2020年度までは「行動計画」にスポーツ総合寮の検討を盛り込み検討を進めていましたが、東松山キャンパスの近隣に適切な建設候補地を確保できないことから検討を中断しています（2021年度の「行動計画」には入っていません）。ただ、学園が所有・管理する陸上部（男子長距離）やラグビー部の寮の老朽化が進んでいることはご指摘のとおりであり、個別に寮環境の改善に努めていくことになっています。現在、陸上部（男子長距離）の新寮建設を検討しているところです。

【留学関連】

15. 2022年度の派遣留学について大学の方針や予定を教えてください。

【回答】昨年度の派遣留学は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止・延期といたしましたが、世界各国のワクチン接種状況を踏まえ、今年度秋学期の派遣留学から一定条件を満たしたプログラムで留学を再開し、現在 19 名の学生が留学をしています。

2022年度も引き続き、留学先国の入国制限状況、留學生の受入れ状況、ビザ発給状況などを確認し、安全の確保に十分配慮したうえで、学生達の海外留学の目的が果たせるよう支援していきたいと考えております。

【その他】

16. 大学での新型コロナウイルス集団ワクチン接種は実施できなかったのでしょうか。対応状況を教えていただけますでしょうか。

【回答】ワクチン接種に関して、本学における職域接種については、6月初旬以来、実施の検討を進めてきましたが、医療機関との連携も含めた医療体制の確保が困難であることなど、様々な課題があることから、現在のところ目途はたっておりません。各自治体における接種や、すでにDBポータルよりご案内した東京都と大学が連携したワクチン共同接種会場（※）などを利用してください（ただし、ワクチン接種はあくまでも任意であり、強制ではありません）。

（※）ワクチン接種のご案内～都内の大学生・教職員の皆様へ～

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryo/kansen/coronavaccine/univ.html>

その後の状況（9月以降）ですが、上記回答の対応状況に変化はありません。各自治体における接種や、東京都と大学が連携した共同接種会場での接種を学生向けに案内するとともに、近隣の大学や民間企業からご提供いただいた接種枠を学生に案内し、400名前後の学生が接種した旨の報告をうけております。学生の20代のワクチン接種率も向上していることをふまえ、現在のところ、本学において職域接種を実施する予定はありません。

17. オンラインでの学費や施設使用料について知りたい。他大学では訴訟問題になっている事例もある。

【回答】大学の学費は、4年間大学に在籍し、所定の単位を取得し、学位が授与される在学期間全体を通しての費用として設定されており、それを年度ごとに均等に分けて納付をお願いしております。

コロナ禍におきましては安全配慮義務の観点から、これまでのような学内における対面授業だけではなく、オンラインを活用した授業を併用して行っております。授業の方法は異なってはいいても、大学のカリキュラムに沿った授業を行い、学修した成果を評価することによって成績や単位を付与し、最終的に学位を授与するという学費として設定された内容について変わりはありません。

当初は急遽開始されたオンライン授業について教員側でも慣れないところがあり、学生の皆さんからはさまざまなご意見をいただきました。それらを受けて教員個人でも授業に工夫をするとともに、大学、学部学科としても、対面授業とは異なるオンライン授業の進め方についての研修を実施することにより、対面授業と変わらない授業の質を維持し、オンライン授業の特質を活かした授業運営を行うことに努めてまいりました。

大学施設につきましては、緊急事態宣言への対応や安全配慮義務から、大学への入構を控えていただいた時期がありましたが、スクールバスや教室、図書館をはじめとした学生さんが利用される学内施設等への抗ウイルスコーティングの塗装や、構内検温所の設置、消毒薬の配置、罹患者が出た場合に備えての座席確認

システムの構築などハード面を整え、安全対策を施した上で、現在ご利用をいただいております。また、オンライン授業の受講がスムーズにすすむよう、さらに学内のネットワーク環境を整備していく予定であります。

コロナ禍における通常と異なる形の授業の実施や構内への立ち入り規制に関し、特に学費（授業料、教育充実費など）との関係でいただきましたご意見ご質問を受けまして、昨年6月に学長メッセージ「学費に関する考え方」として大学ホームページに掲載させていただきました。

今後とも引き続き本学におけるコロナ禍での授業方針等につきましてご理解いただき、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

18. 緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置で授業形態が変わってきていますが、大学施設の維持管理費用について今後、見直しを検討していただくことは出来ないでしょうか。

【回答】 大学施設の維持管理費に関する考え方は、質問事項 17. の大学回答後半部分をご参照ください。コロナ禍が終息した後の授業形態に関しては、オンラインの併用など、大学によりさまざまな考え方があるようですが、本学としては、全面的に対面授業に戻すことを考えており、授業形態の変更にもなう大学施設の維持管理費用見直しの必要はないと認識しています。

19. 大学授業料、学費納入でのクレジットカードの利用は可能でしょうか。また、将来利用可能になりますでしょうか。

【回答】 大学授業料および学費納入につきましては、現在、クレジットカードの利用は対応しておりません。ご要望につきましては、今後の社会情勢等を踏まえ、参考にさせていただきますたく存じます。